

学習内容報告書 フォーマット

学校名	早稲田大学高等学院中学部
授業者	加藤陽一郎

1. 単元計画

1-1. 単元名

イソギンチャクの無性生殖

1-2. 学年

中3

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

理科

1-4. 単元の概要

生体のウメボシイソギンチャクを用いて、無性生殖で小さな個体が増える様子を観察する。班ごとに、イソギンチャクを1匹ずつ小さなケースに移し、10日間、子の増え方を調べる。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

海で採集したイソギンチャクを通して、無性生殖を学習する。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

生殖の種類を把握し、海にすむ生物の生活の様子を理解する。

1-7. 単元の展開（全1時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1	4月に理科部でイソギンチャクを採集しに行った際、なぜか個体が見つからず、断念した。購入したイソギンチャクを飼育したが、これもうまくいかなかった。授業では増殖実験はできず、イソギンチャクの提示のみになった。	理科部での採集指導・飼育・実験／なし 外部連携なし／水槽・ライト・海水

2. 学習活動の実際





2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

2-2. 本時の目標

授業にて、イソギンチャクを提示する。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点 (方法)
<p>準備に多くの時間を費やした。4月に、理科部を引率し、千葉県館山市でのウメボシイソギンチャクを採集に行ったが、採集ができなかった。その後、業者から購入し、飼育を試みたが、うまくいかなかった。数匹のイソギンチャクを生徒に提示することができた。プレ実験は生徒と行った。</p> 	<p>理科部での採集指導・飼育・実験、授業での提示 / 実物を見せることの効果の大きさ</p>   

3. 今回の活動の自己評価

海洋生物の採集や飼育は夏場に行うことが多いが、授業の関係で春の実施となった。そのため、イソギンチャクの採集や飼育がうまくいかず、単元計画自体がうまくいかなかった。辛うじて、数匹のイソギンチャクを生徒に提示することができた。実物を見せることの効果はあった。実験に関わった生徒は、海洋生物に関する知識がついており、課外活動としての成果は高かった。

4. 今後の課題

海洋生物の採集と飼育には、時間をかけ入念に検討すべきである。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

海洋生物の採集と飼育は経験が必要で、簡単にはできないことが分かった。早くから事前準備を行い、経験者からアドバイスをもらう必要があると感じた。